

飼料作物の種子増殖のしくみ

品種の育成



もと種子の増殖



家畜改良センター

流通種子として普及



海外で大規模に増殖

増殖国：米国、オーストラリア等



国内の研究機関で育成される新品種の種子は極少量のため、家畜改良センターにおいて増殖されます。その種子をもとに低コストで大規模に生産ができる海外でさらに量産します。

その種子が国内に再び帰り、流通種子として一般販売され、生産者に利用されていきます。

熊本牧場で種子増殖している主な飼料作物



イタリアンライグラス



青刈えん麦



ギニアグラス



飼料用イネ

熊本牧場では、暖かい気候の地域で栽培するのに適した温暖地向けの飼料作物種子の増殖をしています。例えば、暖地型の牧草類・寒地型の暖地向け牧草品種類・穀類および飼料用イネの種子です。



飼料用イネの品種比較展示